

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県豊橋市立青陵中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0016

豊橋市牛川町洗島108番地の1

E-mail seiryo-i@toyohashi.ed.jp

Website www.seiryo-i.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 299名 女子 255名 合計 594名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 報告期間

平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

本校は、「豊かな知性をみがく」「協調と思いやりの精神を養う」「たくましく心身を鍛える」という学校理念のもとに、ESDを持続可能な社会作りの根幹として捉え、ESDの実践をとおして主体的に探究し、思いや学びを高め合える生徒の力の育成を目標とした。

具体的には、応援団活動、夏みかん並木の保全、学校行事の推進を柱に①応援団に係わる活動②夏みかん並木に係わる教育、③ゆるキャラ「オルファ一君」に係わる教育④色別団活動で取り組む体育祭に係わる教育を行った。

① 応援団に係わる活動

青陵中学校では「伝統を引き継ぐこと」「愛校心を高めること」「青陵中学校生としての誇りをもつこと」をねらいとし、応援団活動が行われている。応援団は1年生の5月、希望者による体験入団があり、体育祭から活動がスタートする。最後は3年生の青陵祭で活動を終える。青陵中学校の応援団は平成4年から始まり、今年で25年目となる。体育祭の応援団演舞だけでなく、平成23年度から、青陵祭で全校演舞も行われるようになった。全校演舞は、青陵祭の目玉となる一方で、東日本大震災で被災した、東北の方々へエールを送ろうという思いから始まった。今では、団長から、新団長へ世代交代をする『継承式』を取り入れたこともあり、全校で行う演舞を通して、3年生から後輩たちへ伝統を継承する場としての意味も持っている。

②夏みかん並木に係わる教育

青陵中学校では、毎年1月に夏みかん収穫作業が行われる。青陵街道沿いに植えられた約110本の夏みかん並木は、昭和35年の5月に、「郷土への奉仕活動を！」をテーマに当時の生徒会役員の発案で、校区の青陵街道に産地でもある香り豊かな夏みかんを植えたのが始まりである。このことがテレビ番組で紹介され、詩人のサトウ・ハチローさんが「きいろが きいろが かがやきになる」という夏みかんの詩を書いてくださった。先輩方による地域の自然を愛し、緑を育てる活動を引き継ぐ夏みかん並木は、緑化委員会を中心に育てられていた。現在は生徒会が中心となりボランティアを募集し、福祉委員会と、環境委員会が協力をして収穫作業、磨き作業を行っている。収穫した夏みかんは、地域の福祉施設に届けている。

③ゆるキャラ「オルファー君」に係わる教育

本年度、青陵中学校のゆるキャラを募集した。キャラクターの制作について、「誰でも簡単にイラストにして描けるようなもの」「青陵の青を基調としたもの」「ALL FIGHTをどこかに入れたもの」の3つを条件として全校生徒がアイデアを出し、生徒会執行部が48作品に絞り、ゆるキャラ48総選挙を実施し、オルファー君が選ばれた。その後、オルファー君の着ぐるみを作り、さまざまな活動に登場させて生徒会活動を盛り上げている。

④色別団活動で取り組む体育祭に係わる教育

本年度、青陵中学校は1年6クラス、2年5クラス、3年6クラスとクラス数が異なるため、色別で縦割りグループを作るようにしている。生徒集会で3年の各クラスの代表にくじを引いてもらい、その色ごとに分かれる。一つの団だけ1年と3年のみになってしまうが、2年生の競技の得点で不利にならないようにルールを設定している。縦割りボーナス点を採用している種目は、長縄と全員リレー、大玉運びである。色で分かれるため、ハチマキを用意し、当日は自分たちの団カラーのハチマキでそれぞれ他学年を応援できるようにしている。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2、2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 委員会活動)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

なし

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2、 1-3 に対応

特別活動として、夏みかん保全是生徒会活動と委員会活動、ゆるキャラと応援団は、学校行事の体育祭と文化祭の活動で、学級活動と授業後の活動で練習や準備を行って実施。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間行事予定に組み込み、生徒会や特別活動の枠の中で計画的に実施。校務分掌上も、担当者を決めて運営している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動後に振り返りを教職員も生徒も行っている。また、学校アンケートを年2回行っている。対象は、保護者、生徒、教職員、評議員である。

現時点では、生徒会活動により、生徒全員が係わることができたゆるキャラは、活動を盛り上げ、学校のマスコットとなった。夏みかん並木については、常時活動の時間が取りにくく、たくさんの実りがあったが昨年度の反省に基づき、PTAのボランティアを活用し、無事収穫を終えた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校新聞、PTA 新聞でそれぞれ行事の紹介を行い、ホームページでも報告を行っている。

地域からは応援団の活動を楽しみにしており、行事の参観者が多い。夏みかんも地域からの引き取り手があり、収穫を楽しみにしてもらえた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

特になし。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

長野県飯田市立飯田東中学校とりんごと夏みかんの交流を行い、秋のりんごへの返礼として、夏みかんを2月に送っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本校の特色ある取り組みとして長年継続されてきた活動であり、卒業後も地域として「伝統ある～」という言葉で、語られている。また、応援団か夏みかん保全活動に関わることが、卒業までの生徒の大きな目標ともなっている。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

応援団活動と夏みかん並木の保全活動、学校行事でのゆるキャラ制作。
伝統行事としての応援団と夏みかん並木は今後も継続していくが、ゆるキャラについては「オルファー君」を継続するか、新たなゆるキャラづくりを行うかは生徒会と生徒集会によって決定する予定。